

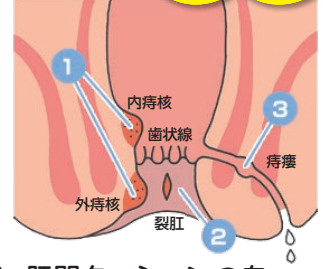
痔

かもしれないとお悩みのあなたへ

その1

痔の基礎知識

日本人の3人に1人は痔に悩んでいると言われます。痔は痔核、裂肛、痔瘻の3つに分類されます。



① 痔核

便秘などによる排便時のいきみや長時間同じ姿勢を続けることで肛門に負担がかかり、肛門クッションの血管が切れて出血やうっ血しよぼのように出てきたものを痔核といいます。

内痔核

歯状線より内側（直腸）にできた痔核のこと。この部分は直腸粘膜の領域なので、通常痛みは感じません。出血や痔核の肛門外への脱出により気付くことが多く、排便時のいきみが原因となる場合がほとんどです。内痔核は症状の進行度合いにより次の4段階に分けられます。

- Ⅰ度 排便時に出血するが脱出はない
- Ⅱ度 排便時に脱出するが、排便後は自然に戻る
- Ⅲ度 排便時に脱出し、指で押さえないと戻らない
- Ⅳ度 排便に関係なく常に脱出して戻らない

外痔核

歯状線より外側（肛門）に血栓ができたものを血栓性外痔核といいます。この部分は皮膚と同じ組織で激しい痛みを伴うケースがほとんどです。血栓が肛門括約筋で締め付けられると痛みは更に増します。普通は、薬により1週間程度で痛みが和らぎ腫れも1か月ほどでひきますが、痛みが強いものは血栓を取り除く必要があります。

② 裂肛

硬い便によって肛門付近が切れたり裂けたりするもので、出血は紙につく程度ですが、激しい痛みを伴うために排便を我慢して便秘になり、さらに症状を悪化させがちです。一般には、「切れ痔」とも呼ばれます。

③ 痔瘻

肛門の周囲に細菌による感染が起き炎症を起こします。膿を出すための「瘻管」ができ、発熱や肛門周囲の痛みを伴います。治療には手術が必要となります。

薬物療法

痔の治療薬には**座薬**、**塗り薬**、**内服薬**の3種類があります。同じ薬や市販薬でも十分な効果が得られない時、再発を繰り返す場合などは、早めに医師の診断を受け、症状に合った薬を処方してもらうことが大切です。

座薬

肛門に挿入しやすいように紡錘型をした柔らかい固形の薬。肛門内に入れると溶けて、痛み止めや止血作用があります。溶けた成分が肛門の粘膜などを保護して排便時の刺激から肛門を守るとともに、患部に直接作用します。指まで肛門に入れるような気持ちで押し込みます。

塗り薬

塗り薬は肛門周囲に塗るタイプと注入タイプがあり、いずれも痛み止めや止血作用があります。排便時に肛門の粘膜を刺激しないよう保護します。塗るタイプは、ガーゼに出して患部にあてます。直接注入するタイプのものは、注入軟膏とよばれ先端の細い部分を肛門内に挿入して軟膏を押し出します。

内服薬

便秘のときに便を柔らかくする緩下剤や炎症や痔の腫れ・出血を改善する飲み薬などが用いられます。

注射療法

内痔核に対し出血や脱出に効果のある注射剤があります。この注射剤を痔核内に直接投与することで痔核を硬化、退縮させ、内痔核を切らずに出血と脱出を治します（**四段階注射法**）。痔核を切り取る手術とは異なり、痔核の痛みを感じない部分に注射するので出血や痛みなど、身体的・精神的負担は軽減されます。治療は短時間で終わり、短期入院や日帰りでの治療が可能です。治療費等の経済的負担も軽減されます。退院後は通院して経過を確認することが必要です。次号では、もう少し詳しくお話しいたします。

手術

手術は内痔核Ⅲ度以上の場合か、薬物療法を数か月行っても症状改善が見られない場合に行います。代表的な手術は「結紮切除法」等があります。

痔の治療の基本は、痔の原因となる生活習慣を改善することが大切です。

- 便秘や下痢は禁物
- トイレはなるべく短時間で
- おしりはいつも清潔に
- 毎日お風呂に入る
- おしりは冷やさない
- 長時間同じ姿勢でない
- アルコールや刺激物は控えめに
- 適度な運動を心がける

次号では、注射療法「**四段階注射法**」についてお話しいたします。

外科部長 佐藤 榮作

→ 次号は「痔かもしれないとお悩みのあなたへ その2」です

- 8月1日(月)～8月31日(水) 食育衛生月間
- 8月1日(月)～8月7日(日) 栄養週間
- 8月4日(木) 栄養の日
- 8月7日(日) 立秋
- 8月11日(木) 山の日
- 8月15日(月) 終戦記念日
- 8月21日(日) 献血の日

四字熟語
涼風一陣(りょうふういちじん)
涼しい風が吹き抜けること。